

明治大学 MIMS 現象数理学研究拠点
錯覚と数理の融合研究セミナー

2014年7月22日(火) 14:40-15:30

明治大学中野キャンパス 6階 603 研究セミナー室

最適化手法を用いた 芸術的なタイリング生成

今堀 慎治

名古屋大学大学院工学研究科

計算理工学専攻 准教授

オランダの芸術家エッシャーは、動物をモチーフとしたタイリング作品を数多く残した。本発表では、数理と計算機を用いて、エッシャーの作品のような芸術的なタイリングを生成する手法を紹介する。

(杉原解説) タイリングは、図形で平面を埋め尽くす幾何構造ですが、そこに使われるタイルが動物などの意味を持つ形の場合には、何が図形で何が背景かが入れ替わる図地反転錯視と深いかわりがあります。その意味で、本融合セミナーでお話しいただくことにしました。

連絡先：杉原厚吉(先端数理科学研究科)
内線 8366
kokichis@isc.meiji.ac.jp